

坂戸市立南小学校 笑顔・感動・花いっぱい

# 夢道場・南小だより

【学校教育目標】

- やさしく (徳)
- かしこく (知)
- たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和5年10月31日  
第21号 文責 鈴木 博貴

## 『いざ、子供たちのため未来のために「今こそ！」』【南小の学力向上施策】

### 【本年度の重点】 ○ 「学び合い、高め合う」教育（児童⇄教職員⇄家庭・地域）

子供たちの **自己肯定感** を高め、 **人間関係形成力** と **学力** の向上を図る教育の推進

次代を担う子供たちの「生きる力(生き抜く力)」を育成するために本校が重点としている取組を、学力向上に焦点を当てて改めてご紹介します。時代の要請のもと、本校では、「主体的・対話的で深い学び」に資するものとして『学びづくり』による授業を全校挙げて推進しています。



また、「教科担任制」、「少人数指導」、「非認知能力」、「言語能力」の育成にも取り組んでいます。ご家庭でも、子供の心に寄り添い「認めて、褒めて、伸ばす教育」を根幹に、子供たちの自己肯定感や学習意欲などの情意面をさらに伸ばし、規則正しい生活習慣や家庭学習の習慣化、家族とのふれあい、ノーマティア・チャレンジや家読の奨励等、引き続きご協力をお願いいたします。

□ **【本校が推進する『学びづくり』】** 技術革新など急速に変化する時代において、主体的に変化に向き合い、他者と協働して課題を解決していくことができる人材の育成が重要とされています。そこで国では「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、子供と子供、子供と教師が考えを交流し合うことで、新しい考えや違う考えに出会ったり、今までの考えを見直したりして理解を深めることや教材の価値に深く触れたりする「協働的課題解決型」の学習活動を目指しています。本校では、この「主体的・対話的で深い学び」を実践するため、教師主導の「一斉指導」ではなく、『学びづくり』による授業を通して主体的に課題に取り組み、他者との協働の中で課題の解決を図ったり、ねらいに沿って学びを深めたりすることができる子供たちの育成に努めています。

□ **【学びづくり研修会】** 本校は、『学び合い』を提唱した東京大学 名誉教授 佐藤 学 先生をはじめ、長年、学びの共同体スーパーバイザー(元・茅ヶ崎市教育委員会教育長) 谷井 茂久 先生にご指導をいただきながら実践研究を積み重ねてきました。昨年度から新たに 埼玉大学教育学部 教授 北田 佳子 先生を本校専属の指導者として、直接ご指導をいただいて研修を進めています。北田教授には、9月11日にご来校いただき、全教員の授業を参観して、ご指導をいただきました。この「学びづくり」による授業改善を深めることで「主体的・対話的で深い学び」を実践していきます。

□ **【教科担任制の充実】** 国は令和4年度から、高学年において1人の教員が特定教科(外国語、理科、算数、体育)を受け持ち複数の学級で教える「教科担任制」を一部で導入し始めました。従来の学級担任が、ほぼ全教科を教える「学級担任制」から大幅な見直しとなります。本校では、この「教科担任制」を本校独自で積極的に導入しています。

### 【南小独自の『教科担任制』や『道徳のローテーション指導』等(例)】

○ **5・6年生** ⇒ 理科、社会、音楽、図工、家庭、外国語、書写、総合で実施。算数の少人数指導、道徳のローテーション指導

\*他学年でも理・社や技能教科を中心に教科担任制を実施。本校独自の教科担任制で、「専門性の向上」や「小・中学校間の滑らかな接続」を図るとともに、「児童理解」の面でも、子供たちがたくさんの教員と繋がる等の効果を上げています。

□ **【学力(「認知能力」)向上のための「非認知能力」の育成】** \*非認知能力=認知能力ではない能力全般学力向上の根底となる自己肯定感(自己存在感、自己有用感)、自信、意欲、共感力、協調性、自制心、勤勉性、忍耐力、やり抜く力、などを学級・学年・全校での集団づくりやピアサポートを重視した縦割り集団活動の中で育成します。本校は、埼玉県教育委員会からの要請で『非認知能力育成実証研究校』となっています。(詳細は後日)

□ **【言語能力の確実な育成】** 全ての授業や教育活動を通して「言語環境の整備」と「言語活動の充実」を図り、知識・技能を総合的に活用しながら、「思考力」、「判断力」、「表現力」を育成しています。その他にも、「よむYOMUシート」(全国30校中の1校の無償実践校)、「読売新聞ワークシート」や「漢字検定協会の無償教材」等も活用しています。

□ **【学習のめあて・学習過程・学習成果の可視化】** □ **【家庭学習用「A1ドリル(eライブラリー)」】** 等



# 全ての児童に「豊かで確かな学び」「学びの喜び」を

児童の学力向上のために、南小教職員は1時間1時間の授業の充実を目指して日々研鑽を積んでいます。9月11日(月)には、**埼玉大学 教育学部 北田 佳子 教授**を指導者に迎え、全教職員が授業を公開し、ご指導をいただきました。3・4校時は、全て授業を参観し、5校時には、5年2組の算数の授業を全員で参観。その後、他校の参会者と全職員が協議をし、「主体的・対話的で深い学び」について研修を深めることができました。以下、当日の授業の様子の一部をご紹介します。



## 【令和5年度 学びづくり研修会】

- 日時:9月11日(月) 5校時
- 授業公開学級:5年2組
- 算数「整数の性質を調べよう」

【学びづくり研修会・全体公開授業】5-2 算数 単元名「整数の性質を調べよう」



1-1 国語「かたかなをみつけよう」



1-2 算数「10より大きいかず」



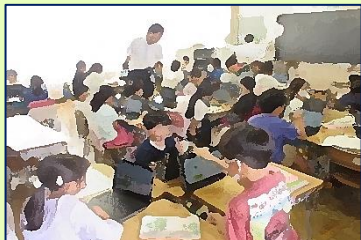
2-1 国語「どうぶつ園のじゅうい」



2-2 国語「なかまのことばとかんじ」



2-3 国語「どうぶつ園のじゅうい」



3-1 国語「山小屋で三日間すごすなら」



3-2 算数「大きい数のしくみ」



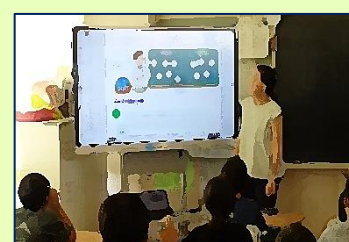
4-1 国語「世界にほこる和紙」



4-2 図工「木々を見つめて」



4-3 道徳「温かい言葉」



5-1 算数「偶数と奇数」



6-1 社会「武士の世の中へ」



6-2 国語「熟語の成り立ち」



くすのき「個別課題への取組」



さくら「自然に親しもう」



4-1 理科「とじこめた空気と水」



6-1 算数「円の面積」



「学びづくり研修会」全体会



「学びづくり研修会」全体会



「学びづくり研修会」全体会

## 【校長室より】『全ての子供に笑顔と質の高い学びを～学び合い、高め合う教育の推進～』

今回の研修会で、改めて児童同士の学び合う(聴き合う)関係づくりや教材の価値に深く触れられるようにすること、仲間と共に協働して課題を解決する活動を積極的に取り入れることの大切さを全教職員で確認し合った。指導者の北田先生からの「南小は、教師と児童、児童同士が互いに学び合う(聴き合う)ことのできる親和的な関係性ができている。」という言葉に励みに、児童の笑顔(=「できる・わかる喜び」「他者と繋がり、協力し合える喜び」)のために日々研鑽を積んでいきたい。 / 『凡庸な教師は指示をする / 良い教師は説明する / 優れた教師は範となる / そして、偉大な教師は子供の内なる心に火をつける』。